

2023「部門別内容」及び「昨年度受講者の評価」

部門	背景と狙い	内容
【生産】	<p>日々の品質改善を行っていても、作業者の高齢化、人材(財)不足、教育などの課題のある中、ヒューマンエラーなどの問題でも困っている、どう取り組んだら良いのか悩まれている担当者も多いのではないのでしょうか？</p> <p>今回の講習では、参加される各社のヒューマンエラー及び品質改善活動の情報交換を行い、同じような問題、類似問題をどう改善したのか、どう取り組んでいるのか解決したのかを学んで頂きます。意外に同じ住宅業界、生産に関わる者として同じ問題を抱えているのかもしれない。</p> <p>また、ヒューマンエラーの真因追及、なぜなぜ分析の基礎を改めて学び、気づき、ヒントを得て今後の品質改善に役立てて頂きたいと思えます。</p> <p>工場見学では、他社の実際の工程、作業を見ることができ、品質の取組についても聞くこともできます。他にないこの機会を是非、有効に活用して頂きたいと思えます。</p>	<p>【事前課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら実施した品質改善事例(最低1件/受講者1人) <p>【事例研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜなぜ分析の基礎と実践(演習含め) なぜなぜ分析の基礎を学習し、実際に演習にてなぜなぜ分析を行い学習の理解度を深めていただきます。 ・最適な品質改善事例の共有 対策事例の中で、各社への展開が可能な対策事例をグループで検討し、最適な対策を共有 情報共有の成果物を「各社展開可能な最適案」として、各グループごとに発表していただきます。 <p>【工場見学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場見学を通して、現在、抱えている問題点を共有していただきます。
【邸別設計】	<p>家づくりは、多くの顧客にとって、一生に一度の大きなイベントでやり直しがききにくく、「自分は失敗したくない」との顧客心理が強いはたらくものです。</p> <p>また、SNS全盛の中で、家づくりにおいても、顧客は多くの情報を入手した上で行動するものの、多過ぎる情報の中で自分は何を実現したいのかを見失いがちで、我々設計者は、それらをしっかりと理解し、受け止めた上でプロとして適切な提案をすることが求められています。</p> <p>そこで、今年度の邸別設計部門のテーマは、「情報過多社会の中で真の顧客価値を提案するためには」とし、多くの情報、要望の中から真のニーズ・ウオンツを把握し、適切で満足・感動を与える提案をするための手法、ノウハウを話し合い、共有する場といたします。</p>	<p>【事前課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①SNS情報等を含めた様々な顧客要望の中から、真のニーズ・ウオンツを把握し、適切な提案を行うための自らの手法・ノウハウ ②上記に関する会社、組織の手法、ツール等 ③上記による成功事例(プレゼン資料、図面等) <p>【講習会内容】</p> <p>上記事前課題をグループ内で共有し、グループワークでそれらの重要な要素や効果的手法をまとめ、発表を行います。</p> <p>また、講師側からもテーマに関する講義等を実施します。</p> <p>本講習会を通じて、同業他社の設計者と情報共有、交流を図り、「顧客価値」=「顧客が本当に(優先的に)実現したいこと」をプロとして適切に提案するスキルを高める機会といたします。</p>
【施工】	<p>コロナ禍を経て、働き方改革やDXの推進、現場の4週8休への取り組みなど、近年私たちの業務の在り方は大きく見直されつつあります。</p> <p>一方でSDGs、RE100、カーボンニュートラルなど社会環境を取り巻く様々な施策や、高騰する住宅資材・人件費への対応も求められています。</p> <p>今年度の品質向上講習会テーマは、『人づくりと強い現場で創る 新時代の品質』です。</p> <p>多様化する施工部門の課題と、それらに対する取り組みについて事例研究発表やグループディスカッションでの意見交換、情報共有を通じて、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。</p>	<p>◎施工部門テーマ</p> <p>『お客様が安心できる「シン・現場品質」とは』</p> <p>ここで表現する「シン・現場品質」の「シン」は「新」「真」「信」「進」「心」「伸」など様々な意味に置き換えることができ、多くの可能性を秘めています。</p> <p>本講習会を通じて、お客様にご安心頂ける現場品質への取り組みを見つけ、明日から現場で実践して頂きたいと考えています。</p> <p>【事前課題】</p> <p>あなたの考える『お客様が安心できる「シン・現場品質』』とは何でしょうか？理想的な概念だけでなく、日々の業務の中で実践可能な具体的な行動レベルで考えてきてください。</p>
【アフターサービス】	<p>近年、アフターサービス現場においても、点検のIT化、ドローンやセンサーを活用したDX化が推進され、安全性、利便性、生産性の向上が図られてきています。また、女性ホームドクターの登用など幅広い人材登用により、提供価値は高められてきています。一方で、ストック事業の拡大に不可欠である「顧客のロイヤルティ向上」のための接点強化に、ホームドクターへの要求レベルは益々高まっており、人材育成や現場力向上が求められています。</p> <p>本講習においてその一助を果たします。</p>	<p>難問、難クレームを解決した事例研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様から難問や相談を受け、自分で調べて回答や解決策を提示し、解決した事例 ・不具合、クレームについて、原因究明を行い、対策を考え、お客様にご説明、ご理解の上で、改修し、解決した事例 <p>以上の事例を共有しながら、問題解決能力を身に付け、現場力向上を目指します。</p>

《昨年度受講者の評価》 参加者アンケートより抜粋

生産部門	他社さんが多いので考え方の違いが分かり、スパイラルアップできそうな内容でしたので役立てたいと思えます。
邸別設計部門	抱えている問題は、どのメーカーも似ていて共感できることが良かった。また様々な意見交換できて、これからの業務に前向きになることができた。
施工部門	他社の取り組みを具体的に知る事ができました。自社で内容を共有して業務改善ができればいいなと感じました。
AS部門	他社の取り組みの話が聞けて、それが自分の業務と照らし合わせて、改善や参考になることが多く、とても良い時間でした。